

令和 2 年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

## 令和 2 年度事業概要

平成 30 年介護保険改正によって、自立支援・重度化防止の取り組みを強化して質の高い介護サービスを実現し、医療・介護が連携して中重度の高齢者を支えることとされていますが、当苑においても、入所者様の重度化がみられる中で、医療・介護の連携強化及び多職種連携により、適切な医療・介護サービスが提供できるよう努めてまいりました。

昨年は、全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、施設内感染防止対策として、職員や来訪者に対しマスクの着用、アルコール消毒、検温等の協力依頼やご家族の面会制限を実施したほか、4月6日より特養、ショートの新規入所者の受け入れ休止、デイサービスの一時休止等の措置を講じましたが、対策を模索し、デイと特養の間仕切り設置とデイ玄関の新規設置により、5月6日にはデイサービスを再開、6月1日より特養の新規受け入れを再開いたしました。

また、例年実施していた家族交流会等のイベントやボランティアの受け入れ中止、外出外泊の制限等、ご利用者、ご家族、職員各位には新型コロナ感染対策として施設内外での制限にもご理解とご協力をいただいているところです。

しかしながら、今年1月には職員1名が新型コロナウイルスに感染したことが確認され、幸いにも苑内での感染拡大にはつながりませんでした。引き続き、感染予防対策を徹底いたしましたところ。

一方、全職員を対象とした「働きがい・働きやすさ」に関するアンケート結果から、職員の資質向上、処遇改善による離職防止を目的とし、人事評価の創設、キャリア育成についてのマニュアル化等の改善を行い、介護職員処遇改善加算1の承認も得ることができました。

また、当苑は開業以来21年が経過し、建物や設備機器等の老朽化が進行してきましたので、1階ホール床の張替えや冷温水発生機、冷温水ポンプ、消防設備等の修繕を行うなど、介護環境の整備改善を図りました。また、感染症対策のための衛生材料として消毒剤やマスク、手袋、ガウン等の防護用品の備蓄購入や家族面会スペース等の環境整備を行いました。

今後とも引き続き、基本理念に掲げる「みんなで笑顔のために」のもと、施設のご利用者様、ご家族や地域の皆様に愛され、信頼される施設を目指し、職員一丸となって一生懸命頑張っております。

## 【事務グループ事業報告】

令和2年度、事務グループでは、設備の補修整備と整理整頓に取り組んでおります。詳細は下記の通りです。3月末までの利用者状況については別紙の通りです。

項 目	内 容	備 考
制度改正対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険限度額認定の更新について、事前に対象者ご家族に案内を実施</li> <li>・令和3年1月より介護職員処遇改善加算Ⅰを算定のため、キャリアパス制度、人事評価制度を構築</li> <li>・今年度も引き続き介護職員等特定処遇改善加算を算定</li> </ul>	
職員の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月「働きがい」「働きやすさ」のアンケートを実施</li> <li>・新卒の介護職1名、介護助手1名、5月事務員1名 8月パート1名、9月パート1名、11月運転手1名 1月介護職2名、2月介護職2名、パート1名 3月介護職1名を採用。3月末までに退職者6名</li> <li>・育児短時間勤務者に対する案内・手続等を実施 (3月末現在の時短勤務者は2名)</li> </ul>	
施設設備の 補修整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品等更新 非接触体温計、無線LAN子機、無線LAN中継機、 防災用ヘルメット、1F浴室カーテンレール WEB研修用ノートPC2台、調理用ミキサー1台、 掃除機、回診車、扇風機、冷風機、長机 ポータブルトイレ、消火器、福祉車両1台、 二酸化炭素濃度計、空気清浄機、消火器、 アクリルパーテーション、PC13台、iPadmini10台</li> <li>・各種修繕実施 非常階段ドア鍵(1F東側)、大型洗濯機 消防設備(2F浴室・天井の排煙窓・ハンドルボックス) 冷温水発生機、加圧ポンプ、冷温水ポンプ 機械室吸気ファン、1Fホール床・ゴミ捨て場の改修 調理室空調、配膳車パッキン、車イス・清拭車 の修繕等</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1F施設とデイサービスの間に関仕切りを設置</li> <li>・デイサービス前の垣根の工事</li> <li>・相談室・居宅部屋にアコーディオンドアを設置</li> </ul>	

# 利用者状況等報告

## 1. 令和2年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,216	97.5%	262	87.3%	32	9.7%
5月	3,233	94.8%	179	57.7%	107	34.0%
6月	3,227	97.8%	60	20.0%	186	56.4%
7月	3,349	98.2%	62	20.0%	221	64.1%
8月	3,281	96.2%	62	20.0%	204	64.8%
9月	3,219	97.5%	60	20.0%	212	64.2%
10月	3,333	97.7%	62	20.0%	228	69.1%
11月	3,191	96.7%	60	20.0%	217	68.9%
12月	3,362	98.6%	62	20.0%	212	70.7%
1月	3,382	99.2%	62	20.0%	134	44.7%
2月	3,000	97.4%	56	20.0%	199	66.3%
3月	3,348	98.2%	62	20.0%	242	70.1%
合計	39,141	97.5%	1,049	28.8%	2,194	56.9%
令和元年度	38,701	96.1%	3,232	88.3%	3,060	79.5%

## 2. 市町別施設入所状況

令和3年3月31日現在

	南越前町			福井市	鯖江市	越前市	敦賀市	若狭町	勝山市	合計
	南条	今庄	河野							
男	7	4	0	0	0	11	0	0	0	22
女	35	16	3	0	0	31	2	0	0	87
合計	42	20	3	0	0	42	2	0	0	109

## 3. 施設サービス年齢別状況

令和3年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	0	2	0	4	7	7	2	0	22
女	0	2	3	5	12	20	28	16	1	87
合計	0	2	5	5	16	27	35	18	1	109

平均年齢 88.2歳(男:87.1歳、女:88.4歳)

最高齢:101歳、最年少:65歳

## 4. 施設サービス介護度別

令和3年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	更新申請中	合計
男	0	0	10	10	2	0	22
女	0	2	29	30	26	0	87
合計	0	2	39	40	28	0	109

平均要介護度 3.86(昨年度3.88)

## 5. 施設在苑期間別

令和3年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	3	3	5	4	3	1	2	1	0	22
女	11	9	21	10	21	3	7	5	0	87
計	14	12	26	14	24	4	9	6	0	109

平均在所期間:3年2ヶ月

## 【企画相談グループ事業報告】

企画相談グループでは、施設内においての多職種連携の要として、入退所に伴う迅速な対応と新規入所者の正確な情報提供及び、各委員会の中心となり施設サービスの質の向上を図れるよう努めた。その他、自然災害の増加による備えの必要性から水害時のマニュアル作成及び避難訓練を実施した。

また地域貢献活動として、各集落で実施されている「地域ふれあいサロン」に昨年同様、参加し講座を実施した。

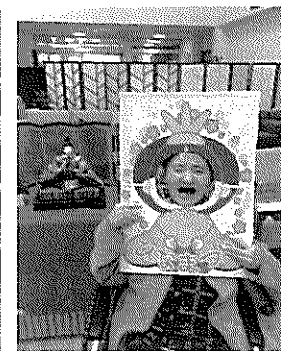
項目	内容	備考
コロナ禍における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても、安心して面会していただけるよう環境の工夫を実施した</li> <li>・面会制限による情報不足の解消のため、居室の様子や日常生活を撮った写真を添付した状況報告書を家族にお渡しし、安心してもらえるように配慮した</li> <li>・コロナ発生時に備えるシミュレーションの実施とコロナ感染症対策マニュアルの作成、職員への研修を実施した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン面会</li> <li>・ガラス越し面会</li> <li>・相談室の対面面会</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症対策マニュアル</li> </ul>
災害時に備えた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害対策マニュアルの作成</li> <li>・避難訓練の実施(7/17水害避難訓練、10/15火災避難訓練、3/30通報訓練)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害対策マニュアル</li> </ul>
入所判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者の判定基準を見直し、必要性、緊急性のより公平な判定と入所順位の高い人に対する面接の機会を設けることで正確な情報による入所の安定化と迅速化を図る</li> <li>・2年度の新規入所者は32名、待機者は80名</li> </ul>	(毎月1回実施)
人材育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパス制度の構築に向けて、苑が求める職員像を明確化し、キャリアアップのための職種別、階層別の研修体系を見直した</li> <li>・不足する人材確保のため、職員紹介制度を設け、3名の介護職員の紹介を受けた</li> </ul>	(毎月第2水曜日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップシステムマニュアル</li> <li>・職員紹介制度規程</li> </ul>
看取り介護委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り介護における体制を整え、多職種協働のもと看取り介護を行っている。毎回、偲びのカンファレンスを実施し、あがった課題に対して、その都度委員会にて検討している</li> <li>・2年度の看取りケアをうけられた方は24名</li> </ul>	(毎月第3木曜日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・インセルケアマニュアル</li> <li>・夜間急変時の対応マニュアル</li> <li>・看取りケアパンフレット</li> </ul>
事故防止対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護事故事例検討会の実施や研修を兼ねた危険予測トレーニングを実施した</li> <li>・大きな事故を未然に防ぐため、小さな気づきを大切に、「危ない」と感じたらヒヤリハットを提出、委員会において分析している</li> </ul>	(毎月第2月曜日)
地域における 公益的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ふれあいサロンに出向き、「日々の体調管理の4つのポイント」「看取りケアの実践」「日々の食事とフレイル予防」の3講座より選んでいただき、苑で取り組んでいる内容を紹介した</li> <li>・2年度は、8か所95名のサロン利用者に参加いただいた</li> <li>・福井県社会福祉法人連携事業推進協議会に参加し「ふく福暮らしサポート事業」として生活困窮者に対する相談・生活支援を行った</li> </ul>	(毎月1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・4、5、1、2月はコロナ感染対策により中止</li> </ul> (利用実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・5件(同一者)</li> </ul>

## 【介護G事業報告】

介護グループでは、それぞれのフロアの特徴を生かしたケアを展開し、重度化する利用者の方々に対して安心安全に、より満足できるケアを提供できるようにご家族、多職種と連携をとりながら援助している。

また今年度は、新型コロナウイルスの影響による行事や面会の制限が余儀なくされ、外出や他者と交流する機会の減少によるADL(日常生活動作)や認知機能の低下が心配されたため、各フロアが工夫を凝らして入所者の方々に楽しみのある生活が送れるようサポートした。

項目	内容	備考
コロナ禍における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日2回の利用者及び職員の検温、体調管理</li> <li>・居室換気及びトイレ、手すり、ドアノブ等の消毒</li> <li>・食堂におけるソーシャルディスタンスの実施</li> <li>・面会時に付き添い、日頃の状況について説明し、安心していただける配慮をした</li> <li>・特養とデイとの間仕切りの設置により、2階浴室の使用についてフロア間で調整を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面席の禁止</li> <li>・飛沫ガード設置</li> <li>・職員のマスク、フェースシールドの着用</li> <li>・緊急時における体制の確保</li> </ul>
楽しみのある生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても利用者の方に楽しんでいただけるような、行事やレク活動の更なる充実を図る</li> <li>・四季を感じていただけるようなドライブ企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会</li> <li>・苑内温泉、エステ</li> <li>・出前・手作り料理</li> <li>・セラピードッグ</li> </ul>
自立支援ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも元気で、自立した生活を送っていただくように、利用者一人ひとりのアセスメントに基づき、水分摂取による覚醒レベルの向上を図りながら、自立した排泄と栄養摂取、歩行練習の4つの基本ケアを計画的に実践した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標1日1,500ml</li> <li>・医師、歯科医師、看護師、リハビリ専門職との連携</li> <li>・排便コントロール</li> </ul>
看取りケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の好きな音楽等流し、穏やかに過ごしていただけるよう配慮した</li> <li>・最期の時まで食べる楽しみを味わっていただけるように好みの物(お酒、果物等)を提供した</li> <li>・口腔内の乾燥による出血防止と清潔保持に努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りケア記録</li> </ul>
身体拘束廃止及び虐待防止の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所前、退院前につなぎ服や車いすでの安全ベルト等使用していた方の入所や退院に際して、原因を検討し、拘束解除に向けて、尊厳あるケアに努めた。</li> <li>・昨年度の緊急やむを得ない拘束数は、0件となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束適正化委員会(毎月第2水曜日)</li> </ul>
多職種との連携とミーティングの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングを毎日実施、申し送りとともに業務改善や個別ケアの実施等、早急に検討が必要な課題について話し合った</li> <li>・緊急時対応マニュアルの修正に伴い、看護師より緊急時の対応研修を受け、実践につなげた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング毎日13:45</li> <li>・フロア会議 月1回</li> <li>・介護GR会議 月1回</li> </ul>



## 【R2年度 看護グループ事業報告】



昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でインフルエンザワクチンが若干遅れて10月19日開始し、11月10日には全員終了しました。職場や家庭内どこに居ても感染対策が日常となっています。

新型コロナウイルスにより制限も多く、在宅での看取りを希望されたご家族への支援を行いました。苑で看取りをされた方には、動画を撮ったり、元気である間にテレビ電話で話したり、ガラス越し面会をして頂き短時間ではありますが、きめ細やかな対応を心掛けてきました。

項目	内容	備考
他職種との連携（研修関係）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新人介護職研修(医療的知識)</li> <li>・ ガウンテクニックの実技指導（8.9月）</li> <li>・ 緊急時の対応（窒息・心肺停止）</li> <li>・ エンゼルケアマニュアル作成</li> </ul>	新人2名 各フロア一介護職員と相談員対象 34名出席（特養 デイ職員）
嘱託医との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山本医師の定時往診（月火水金）</li> <li>・ 山本医師の病状説明</li> <li>・ 苑での看取り死去</li> <li>・ 病院での死去</li> <li>・ 在宅支援（ご自宅での看取り）</li> <li>・ 退所（病状変化により入院・在宅復帰）</li> <li>・ 第1.3 林病院整形外科医師の往診</li> </ul>	15時～16時 22名 24名 5名（救急搬送） 1名（9/13退所 9/16死去） 3名（精神 病院 自宅） 2回/月 野尻医師（5人/回）
協力病院受診	<ul style="list-style-type: none"> <li>①定期受診（整形・脳神経・眼科・泌尿器）</li> <li>②定期受診（精神）</li> <li>③短期受診（皮膚科・耳鼻科等）</li> <li>④救急搬送（骨折・脳・心・肺・腎疾患）</li> <li>⑤歯科医師往診（斎藤歯科医院）</li> </ul>	①林HP 41回 中村HP 36回 ②10回(3人)（web診察2回） ③15回（皮膚科代行診察2回） ④林HP 9回 中村HP 5回 ⑤18回
入所者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所者胸部X-P撮影（ハズ検診）</li> <li>・ 肺炎球菌ワクチン（対象者）</li> <li>・ STによる評価・指導</li> </ul>	81名（6/25） 13名（1回/月）
新型コロナウイルス対策	研修会参加（新型コロナワクチン接種手技） ①PCR検査（ご遺体検査）②（利用者112名） ショートステイの往診 朝・夕の検温強化 面会制限（8月～条件付き緩和） 利用者の環境見直し、指導	医師・看護協会・県主催3/21 2名出席 ①2名（陰性）（4月）②1/2保健所介入 10件（3人） 入所者・全職員 ガラス越しと対面（ガウン等着用） 除菌・テーブル席等 3密回避

## 【給食グループ事業報告】

令和2年度 給食グループでは“安心・安全な食事の提供”“楽しみにしてもらえる食事の提供”を目標に下記のように取り組みました

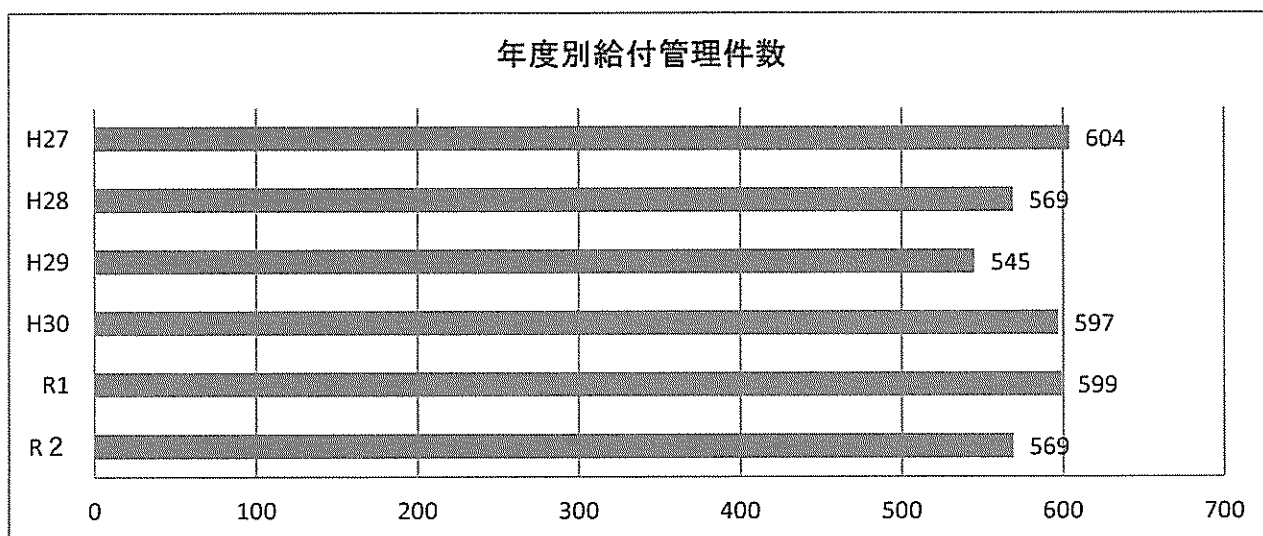
項目	内容	備考
衛生管理の徹底	福井県版HACCPの概念に基づいた衛生管理マニュアルに従い衛生管理を行いました。	
作業環境改善	保健所の指導により 厨房内の手洗い設備2か所を写真のように変更しました。(押すタイプの栓をレバータイプに変更。洗面台が大きく肘まで洗いやすくなりました)	 ↓ 
検査項目の追加	毎月行っている調理従事者の検便検査(赤痢・サルモネラ・大腸菌血清型・腸炎ビブリオ)に加え ノロウイルス感染症流行時期の10月から3月まで ノロウイルスの検査を行うようにしました。	
嗜好調査の実施	令和2年12月 令和3年1月に デイサービスと各フロアの食事委員を通じて嗜好調査を行いました。回答にあったリクエストメニューを誕生日に個別に提供することにしました。	
行事食の実施	季節に合わせた行事食を提供しました。また デイサービスでは昼食バイキング(10月 12月) 希望のあったフロアでは クリスマスとバレンタインデーにあわせてデザートバイキングを行いました。	



## 【居宅支援グループ事業報告】

令和2年度は「アセスメントを充実させケアプランに活かす」を目標に、居宅支援契約者増加(目標60件)に重点をおいた。具体的な利用者状況等については別紙のとおりである。

項目	内容	備考
相談援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のモニタリング訪問の際には、サービス提供状況や本人満足度、支援目標の達成度、計画変更の必要性を意識することで、効果的に聞き取りできるようにした。</li> <li>・状態に応じたサービス調整、福祉用具貸与、購入、住宅改修などの書類作成、申請を行った。</li> <li>・家族介護における助言、指導を行い、安定した在宅介護の継続、継続困難時には、施設についての情報提供を行った。</li> </ul>	
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の配置変更に伴い新規受け入れは調整をしながら行った。のべ給付管理件数は昨年と比べ30件マイナスとなっている。</li> <li>・事業対象者、予防支援者の実績報告を委託されている地域包括支援センターに確実にを行った。</li> <li>・加算を伴う、入退院時の連携を確実にを行った。</li> </ul>	※別紙参照
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議に事例提出し、「圧迫骨折後の疼痛により活動性が低下した高齢者の支援について」「仕事を辞めてから転倒を繰り返す高齢者への支援について」検討。利用者を支援する上で関係者との連携の大切さを学んだ。</li> <li>・ふれあいサロンを開催。地区の高齢者を支える上でサロンを開催する意義について実感した。</li> </ul>	
研修・会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>※南越前町ケアマネ連絡会に毎月参加し、年間を通してアセスメントの重要性、普段の業務における悩み事など情報を共有し、町独自の共通した課題を探す事が出来た。</li> <li>・居宅支援に必要な法令についての解釈を確認、学んだ。</li> </ul>	



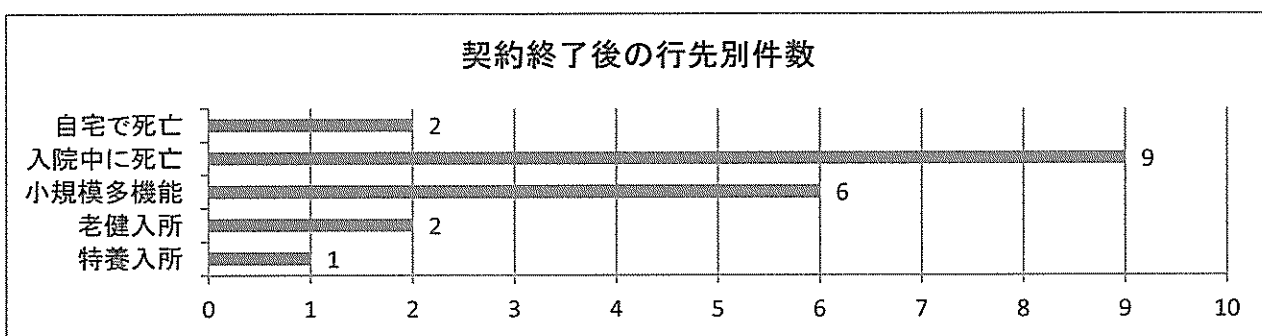
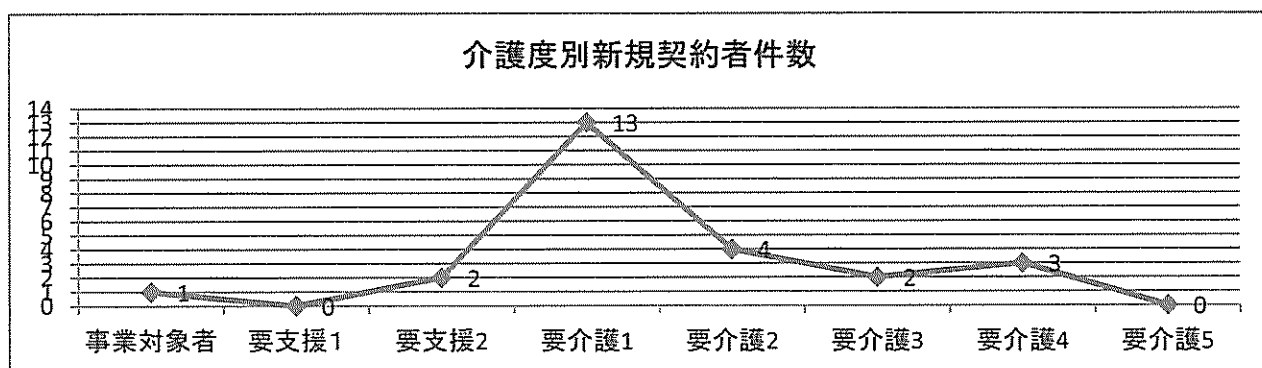
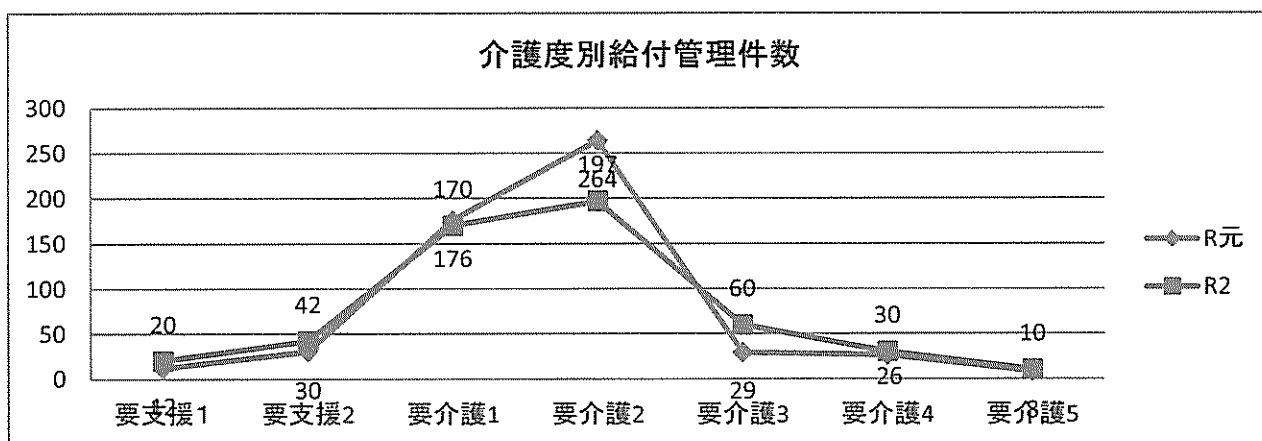
## 令和2年度 居宅支援事業報告別紙

### 【月別認定調査件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
認定調査	1	2	0	1	2	3	0	1	1	1	1	1	14	26

### 【月別新規契約及び給付管理件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
新規数	0	0	2	2	1	7	2	1	0	3	3	4	25	24
支援事業対象者	2	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	40	54
要支援1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	2	2	2	20	12
要支援2	2	1	1	2	2	4	4	4	5	5	6	6	42	30
要介護1	12	13	13	12	16	14	14	15	14	15	16	16	170	176
要介護2	20	18	16	15	21	15	16	16	16	16	14	14	197	264
要介護3	6	5	5	3	3	3	5	6	6	6	6	6	60	29
要介護4	3	2	3	4	2	3	1	4	2	2	2	2	30	26
要介護5	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	10	8
合計	49	45	45	42	49	45	47	51	49	49	49	49	569	599



## 【令和2年度 通所介護事業報告】

昨年度は2回(R2.4月・R3.1月)の営業休止期間がありましたが、再開にあたりましては丁寧な説明を行い、安心して通所していただけるよう努めました。常時、感染対策を第一に心掛けながら営業させていただき、住み慣れた地域で、我が家での生活をいつまでも継続できるように、ご利用者様やご家族様の意向や要望を取り入れ、出来る限りの対応をさせていただきました。また利用者様の健康状態を把握し、ご家族様への連絡により重症化の予防に努めました。感染対策での規制の中、ご利用者様にはご不便をお掛けしておりますが、限られた環境の中で運動を取り入れ、下肢筋力の低下予防や転倒防止に努め、利用者様が楽しみが持てる行事、ドライブ、季節を感じる工作、手作りおやつなどに取り組みました。

項目	内容	備考
ケア	感染症対策を実施しながら、環境を整え、ケアに取り組みました。利用者様に合った食事の提供、入浴支援、排泄支援、運動、余暇活動、レクリエーション、またご家族様に対してはレスパイトケアを図りました。	感染対策に応じ環境を整え、1日3回の検温や消毒を継続し、状態の観察、手洗い、マスク着用の徹底を促しています。
職員	ご家族様からのお悩みなどの相談にのって可能な限り支援させていただき、適宜、介護支援専門員と連携して支援にあたりました。	ご家族様の都合による利用時間の延長や対応等の希望を取り入れています。
研修	感染防止対策のこともあり、外部研修への参加はありませんでしたが、苑内の研修に参加する事で意識を高め、知識を深めました。	研修不参加職員への伝達を行っています。
行事	・誕生会 ・手作りおやつ ・ドライブ ・出前、外食などを実施しました。	感染対策を行い、利用者様に意向を聞きながら実施しています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比													
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計												
介護度	事業対象者	2	0	5	8	9	16	8	18	8	22	1	19	0	18	0	17	0	12	0	19	0	25	233	+12			
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	要支援2	1	3	15	11	22	25	30	29	30	23	29	26	31	35	30	24	27	24	17	11	26	17	32	25	543	+138	
	要介護1	1	10	1	30	11	49	12	54	15	44	17	44	22	47	28	47	32	47	23	35	40	46	46	57	758	+105	
	要介護2	2	11	10	17	13	27	18	39	17	40	17	41	18	41	17	29	16	24	10	11	16	15	18	18	485	-951	
	要介護3	0	0	0	7	0	9	0	9	0	9	0	8	0	9	0	20	0	15	0	10	0	12	0	12	120	-99	
	要介護4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	7	3	4	1	8	0	9	0	42	-64	
	要介護5	0	0	0	3	0	5	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	-7	
男女別合計		6	26	31	76	55	131	68	153	70	134	71	141	72	156	75	142	82	130	54	80	90	109	105	137	779	1,415	
総合計		32	107	186	221	204	212	228	217	212	134	199	242	2,194	-866													
延べ定員数		330	315	330	345	315	330	330	315	300	300	300	345	3,855														
稼働率 %		9.7%	34.0%	56.4%	64.1%	64.8%	64.2%	69.1%	65.8%	70.7%	44.7%	66.3%	70.1%	56.9%	-22.6%													
新規利用		0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	13	-13	